

子どもたちのために

今度は一〇〇万円

小川己代治 喜久 さん

昨年十一月、栗山の小川己代治・喜久さんご夫妻から、横芝小学校へ百万円の寄付がありました。小川さんは、同校が昭和四十八年に講堂の改築を行った際にも、一千万円という多額な寄付をされており、今回、それに続く二度目の寄付となりました。



▲ 金婚式を記念して寄付された小川さんご夫妻

福祉のためにと

五十万円を寄付

十二月十六日、「町の福祉のために、ぜひとも役立ててください」と太陽株式会社（鈴木慎栄社長・光町木戸）から五十万円の寄付がありました。町では、同氏のご厚意を福祉のために有効に使わせていただくために、現在、関係機関と使途について検討中です。善意の寄付、ありがとうございます。



▶ 横小講堂前の顕彰碑

寄付のきっかけとなったのは、「私が、前日に寄付をした折りに顕彰碑を建てていただきました。その碑を子どもたちが、毎日掃除をして大切にしているようすに心を打たれ、子どもたちへの感謝の気持ちとして、また、今年が丁度私たち夫婦の金婚式の年でもあるので、これを記念して寄付させていただきました。」と語ってくれました。

同氏の心温まる寄付に、横芝小藤代弘一校長は「子どもたちにとって、ほんとうにありがたいことです。小川さんからの寄付で、子どもたちに文庫本を購入する予定です」と話してくれました。善意の寄付、ありがとうございます。



横芝俳壇

横芝句会十二月例会

木下石果子
頭に降誕祭を肯はず

安井ゆづる
冬田打つ人なくなりぬ一人打つ

石毛 石汀
朴訥な言葉湯豆腐つき合ふ

池田 和代
円陳の中の豆腐がたぎり呼ぶ

住母家千夫
ミニツリ飾りピアノを娘に打たす

三枝 句城
菊大輪師走忘れし句会かな

石橋 愛
湯豆腐や女の暮し内見せず

石田 こう
湯豆腐の角くずれゆく機嫌かな

横芝町新島
貼り終へし障子にうつる夕日かな

次回
日時 二月四日(水)

兼題 春を待つ 冬の水

小高 美沙

大沢 竹玉

向後 雅子

若梅あやめ

鈴木 南知

出嫁ぎの父に代りて母サンタ

湯豆腐に亡き夫の酒量憶い出し

湯豆腐やおふくろの味おほえけり

湯豆腐にしおさい雨となりゆけり

今宵イブ病棟の窓みな灯す

今宵イブ病棟の窓みな灯す

今宵イブ病棟の窓みな灯す

今宵イブ病棟の窓みな灯す

今宵イブ病棟の窓みな灯す

今宵イブ病棟の窓みな灯す

今宵イブ病棟の窓みな灯す

今宵イブ病棟の窓みな灯す

今宵イブ病棟の窓みな灯す

今宵イブ病棟の窓みな灯す



☆係から☆

現在、話題となっている「サケ」の特集を来月号に掲載しますので、ご期待ください。